

広報

11

2006/November

No.20

しよばら

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市



モーっとがんばれ!

口和のモーモー祭りで行われた牛と子どもの綱引き(関連16ページ)

今月の主な内容

- クローズアップ…………… 2
- 学力の定着をめざして…………… 4
- 庄原市環境基本条例を制定…………… 8
- 国民保護計画(素案)に意見募集…………… 9
- 人権尊重のまちづくりのために…………… 10
- 農業収支計算相談会…………… 11
- シリーズ市の台所事情…………… 12
- 安心・安全な毎日のために…………… 13
- 国民年金現況届の省略サービス…………… 14
- 健康広場「メタボリックシンドローム」…………… 15
- ぐるりしよばらカメラレポート…………… 16
- お知らせ…………… 22
- 発見!しよばら…………… 30



クローズ
CLOSE UP
アップ
話題の人に迫る



▲青い空、ふわふわしたドーム、子どもたちの表情など、4枚の写真をパネルに貼った組み写真。左は写真部顧問の田村繁美教諭

高校から写真を始めて2年半
全国高等学校総合文化祭で日本一

この夏、京都市で行われた第30回全国高等学校総合文化祭の写真部門で、永田典子さんが最優秀賞を受賞し、日本一に輝いた。

この大会には、各都道府県の予選を勝ち抜いた307作品が出品。「何か賞が取れれば……」そんな思いで会場入りした永田さんは、事前に情報が入った写真部顧問の田村繁美教諭から「おめでとう。最優秀賞だよ」と伝えられ、いきなり喜びの頂点に達した。

「最優秀賞なんて本当に信じられませんでした。作品の展示会場に行き、この目で確認する」といわじわと実感が込み上げてきました。笑顔を見せる。

最優秀賞に選ばれた作品「フアードーム」は、公園で遊ぶ子どもたちを撮影した組み写真。

子どもたちの元気な姿、かわいらしい笑顔を撮りたいと県立みよし公園へ行き、ファイナダーを覗くと、予想以上の楽しい構図に感動。納得するまで撮影したいと3回も足を運んだ。「いきなり子どもたちにレンズを向けると、カメラを意識して自然な表情がでないの、子どもと一緒に遊び、仲良くなつて、自然な表情をとらえました。また、迫力のある写真を撮るため

恥ずかしさを忘れて地面に寝そべってローアングルからシャッターを切りました」という力作。大会審査員から「子どもたちの表情がいきいきとあらわれ、プロが見ても気持ちがいい作品」と高く評価された。また、田村教諭も「私たちでは撮りたくても撮れない写真。女子校生だからこそ撮れる作品」と分析する。

永田さんは写真部でただ一人の3年生。田村教諭は、「一人で自分を向上させることは難しいこと、いっぱい苦労もあったと思う。永田の良さは辛抱ができる、弱音をはかない、素直に指導を受け入れて自分なりに実践できること。この素直な心が、驚くスピードで技術を向上させた。実力的にも全国トップクラス」と評価する。

8月25日には、県教育委員会が全国規模の各種大会で優秀な成績を修めた児童・生徒を対象に表彰するメイプル賞を受賞。

「誰にも負けたくない、一番いい写真を撮りたい」という強い気持ちと、田村先生の指導、他の部員のおかげです」と受賞の喜びを語る。

高校から写真を始めて2年半、向上心と強い気持ちが日本一へと導いた。

和道流庄原支部がチームワークで
和道流空手道連盟全国大会を制す



▲左から三上彩香さん、松下栄作さん、塩田充芳さん、前原喜代志さん、谷本寛さん。自らの鍛錬とともに子どもたちの育成に力を注ぐ。

第42回和道流空手道連盟全国大会が8月19、20日の2日間、東京武道館で行われ、組手男子団体戦一般の部で、本市から出場した庄原Aチームが優勝、庄原Bチームが第3位、また、組手個人戦高校生男子の部で矢吹伸也くん(庄原実業高等学校3年生)が優勝に輝いた。

この大会は空手道4大流派の1つである和道流の全国大会。一般の部は、大学空手道部OBなどの強豪が出場し、勝つことは難しい。「優勝して来い」とは言ったが、本当に優勝するとは思わなかった」という指導者の谷本寛さん。予想外の結果に驚いている。

団体戦は3人1チーム。昨年までは1チームの参加だったが、今年には市出身者で県外在住者をメンバーに加え、2チームで参加した。どちらのチームも勝てるよう力関係をバランスよく編成し、「決勝戦で戦おう」と目標を定めた。

団体戦には11チームが出場。庄原Aチームは昨年イギリスで開催された第7回和道流空

手道連盟世界大会で3位になった友貞太さんを中心にまとまり決勝に進出。庄原Bチームは準決勝で悔しい負けを喫したが、3位決定戦を制し3位入賞。「あとは庄原Aチームが優勝するだけ」と庄原Bチームも必死の声援を送り、初優勝を飾った。チームワークが鍵を握る団体戦で、大会まで一緒に練習できなかったことも、小さい頃から一緒に汗を流してきたチームには関係なかった。「勝因は庄原Bチームを含めたチームワーク。声援が励みになった」と塩田充芳さんは振り返る。

「来年は庄原市から3チームがエントリーし、優勝庄原、準優勝庄原、第3位庄原と『庄原』の名前を武道館に響かせたい」と出場メンバーは夢を描く。

また、矢吹伸也くんが出場した高校男子の部は、17人が出場。「成績のことは一切考えず、目の前の試合を勝つことだけを考えていました。ただ、準決勝に勝ち上がった時、初めて優勝を意識した」と振り返る矢吹くん。普段はカウンター狙いの

戦法も、この日は自分から手を出す積極策で、得意の中段突きに加え、ポイントの高い蹴りがよく決まった。「優勝したのは先輩方のアドバイスのおかげ。来年は一般の部で先輩の皆さんと一緒に勝ち上がりたい」と抱負を語った。

大学で空手道部に在籍していた谷本さんは昭和57年に「和道流庄原支部」を立ち上げ、「庄原市空手道スポーツ少年団」「庄原中学校空手道部」の3つの団体を指導。庄原中学校は11年連続で全国大会に出場している。

成績

- 組手男子団体戦一般の部 優勝 庄原A(塩田充芳、矢吹祐次、友貞太)
- 第3位 庄原B(谷本 晃、松下栄作、前原喜代志)
- 組手個人戦高校生男子の部 優勝 矢吹伸也

最近では、谷本さんたちが指導した子どもたちが社会人になって、子どもたちを育成するというサイクルができつつある。「後継者を育成し、市内でもっと空手を普及させたい。また、空手を通じて庄原市を全国に発信させたい」と目標を語る。



▲矢吹伸也くん 広島市内へ進学後も空手を続けるという。



学力の定着をめざして 「基礎・基本」定着状況調査

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

「基礎・基本」定着状況調査は、県教育委員会が子どもたちの確かな学力の定着に向けて、県内すべての公立小・中学校において平成14年度から実施され、今年で5年目を迎えました。本市においては、小学校5年生329人が国語科と算数科、中学校2年生346人が国語科・数学科・英語科の調査に参加しました。

「基礎・基本」 定着状況調査の趣旨

この調査は、調査結果を基に各学校が自校の課題を明確にし、指導内容や指導方法の改善を図るために行われています。
各教諭は、児童・生徒の※**通過率**を授業の指導目標あるいは達成目標と比較して、児童・生徒がどの程度達成したかを確認し、明らかになった課題については綿密な改善計画を立て、庄原市児童・生徒学力向上検討委員会で慎重に検討しながら、2学期以降の指導を充実させるよう取り組みを進めています。
※**通過率** 正答者数を調査対象者数で割った百分率

各教科の通過率と分析

小学校 国語科

		(単位%)				
	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
庄原市	80.5	81.1	85.5	75.3	82.2	
広島県	78.0	74.4	80.8	75.7	80.8	

教科全体の通過率は8割を超え、基礎・基本はおおむね定着していると考えられます。
しかし、領域別に細かく見ると、「読むこと」の領域の通過率は8割を切っており、県全体の平均もわずかに下回りました。課題は、段落相互の関係を考えて文章を正しく読み取ることができること、文相互の関係を考えて文章を正しく読み取ることができることの2点です。出題は、「説明文」と呼ばれ、筆者が事実や意見を織り交ぜながら伝えたいことを

論理的にまとめている文章の読み取りです。
この2点に課題があるということは、文章のどの部分に事実が述べられていて、どの部分に意見が述べられているかが十分に区別できず、要旨をつかむ読みができていないということになります。
今後の指導の改善としては、話すこと・聞くことの活動と関連を図って段落意識を育てると共に、接続詞や副詞などの使い方を定着させる指導を行っていきます。

小学校 算数科

		(単位%)				
	教科全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
庄原市	83.7	87.1	78.0	85.6	83.2	
広島県	80.2	83.9	74.1	78.5	82.1	

教科全体の通過率は8割を超え、各領域の通過率も県平均を上回っていることから、基礎・基本はかなり定着していると考えられます。
領域別にみると、「量と測定」の領域の通過率は県平均を上回っていますが、8割に届いておらず、特に水の量を比較する方法を考えることができるかをみる問題に課題があります。
水の量を体験的な活動を通して取り扱い、量を比

べる方法や数値で表すよさに気付かせる指導が必要です。
また、問題別にみると、数量の関係を式に表すことができるかをみる問題に課題があります。買い物などの場面の中で、数量の関係を図に表したり、おはじきなど具体物を操作したりする活動を通して、式の中の数が何を表しているのかを考えさせる指導を行っていきます。

中学校 国語科

		(単位%)				
	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
庄原市	81.7	81.0	87.6	73.3	84.6	
広島県	82.1	81.5	85.1	73.2	86.3	

教科全体の通過率は8割を超え、基礎・基本はおおむね定着していると考えられます。
しかし、領域別に見ると、「読むこと」の領域の通過率は8割を切っており、県全体の傾向と同じように読解力について課題があります。
昨年の調査結果と同様に読むことの領域の中でも特に、文章の展開に即して内容を正確に読み取れ

るかをみる問題の通過率が低いということが明らかになりました。各学校では文章の展開に即した読み取りの指導に力を入れていますが、まだ十分に改善できたとはいえない状況です。
文章の内容を理解する上で手がかりになることばや、接続詞や副詞に着目させながら読み取らせる指導を一層充実させていきます。

中学校 数学科

		(単位%)			
	教科全体	数と計算	図形	数量関係	
庄原市	71.0	74.7	72.2	59.5	
広島県	71.4	75.7	71.4	60.0	

教科全体の通過率は7割を越え、各領域の通過率も県平均とほぼ同じであることから、基礎・基本はおおむね定着していると考えられます。
領域別にみると、「数量関係」の領域の通過率が、ほぼ6割であり、数量の関係をグラフに表したり、グラフから考察したりすることができるかをみる問題に課題があります。

具体的な場面の中の数量の関係をグラフで表し、規則性を発見させるなどの指導が必要です。
また、問題別にみると、一次方程式をつくることのできるかをみる問題に課題があります。ことばの式や図を用いて問題場面から数量関係をとらえさせるとともに、方程式を利用することの有用性に気付かせる指導を行っていきます。

中学校 英語科

		(単位%)				
	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	実技	
庄原市	77.0	81.3	59.9	79.4	84.5	
広島県	76.3	79.5	60.9	79.7	81.4	

教科全体の通過率は県平均を上回り、基本的な学習の力が定着していると考えられます。
領域別では「聞くこと」「実技」が県平均を上回っており、これは外国人英語指導助手を活用した会話などの表現活動に取り組んだ成果であり、今後もさらに充実させる必要があります。
しかし、「読むこと」「書くこと」についてはわずか

に県平均を下回りました。「読むこと」では内容を考えた音読の実技、「書くこと」ではつながりのある英文を書くことなどに課題が見られます。こうした点をふまえ、プリントを使ったパターン練習や、テーマを絞った作文練習などを通じて、相手の考え方や気持ちを読みとり伝える力を充実させる指導を行っていきます。

学校へ行こう週間
11月1日(水)
～11月7日(火)





情報交流や 研修で指導力の 向上を目指す

英語部会 会長
野曾原 美紀
(高野中学校校長)

基礎基本定着状況調査は、毎年中学校2年生を対象に行い、同じ生徒を対象にしていないので、昨年との単純な比較はできません。また、英語という教科は小手先

でこうしたからすぐこう変わるというものではないので、日頃の積上げが不可欠です。単語力をつけ、聞く、読む、話す、書くの総合的な力をつけるよう取り組みを進めていきます。

英語の知識だけでなく学習環境づくりも重要で、生活面との関連や学習集団をいかに形成するかも大きな学力向上の要素となります。基礎・基本定着状況調査結果を分析する中で、授業改善や学習環境の課題、教員の研修を含め幅広く、確実に取り組む必要があります。

各校独自の取り組みもありますが、英語部会を基盤に情報交流を行い、効果的な事例は市内全中学校が連携して取り組んだり、研修の機会を確保したりして、教員の意欲や指導力の向上を目指していきます。



学力向上について 聞く

庄原市児童・生徒学力向上
検討委員会 会長
武田 信和
(小奴可中学校校長)

この検討委員会は、庄原市内の児童生徒の学力向上を図るため、調査結果を基に課題を明らかにし、今後の授業改善に生かすため研修を重ねています。会長の武田信和校長に、今回の調査結果について聞きました。

—今回の調査結果についての感想は

小学校については、昨年に引き続き基礎基本が定着していると思います。この学力を中学校に引き継ぐことが大切です。また、中学校においても概ね県平均で基礎基本が定着していると思います。しかし、県平均であればよいというものではなく、個々の改善すべき点に取り組まなければいけません。

—調査結果をどのように生かしますか

調査結果については、各学校や検討委員会の部会ごとに、分析・協議を行いました。今回明らかになった課題を解決するため、各学校では「指導方法の改善計画」と「指導改善のための実施スケジュール」の見直しを行っています。この計画によって授業を改善し、2月

に予定している市独自の学力調査で、再度検証していきたいと思っています。これを私たちの間では、マネジメントサイクルと呼んでいますが、PLAN(計画)・DO(実施)・CHECK(評価)・ACTION(改善)という行程で取り組んでいきます。

—家庭での取り組みは

家庭学習の手引きなどを子どもたちに渡し、日常的に行う家庭学習と試験前に行う家庭学習の仕方について指導しています。また、学校によってはノーテレビデーを呼びかけるなど、家族の皆さんへ勉強場所の確保や雰囲気づくりなど家庭学習習慣づくりの協力をお願いしています。

—今後の課題は

小学校・中学校連携の充実です。小学校で習ったことも何年か経つと忘れていくことがあります。小学校での学習を中学校で反復するなど、繰り返し行うことが大切です。現在、小学校・中学校連携では、乗り入れ授業といって中学校の教諭が小学校で授業を行うなどの取り組みを行っています。小学校での課題を中学校の教諭が把握し、9年間を通して学力の定着を図ることを目指します。

また、学校は基礎学力の定着だけでなく、豊かな心や健やかな体を育むことも大切です。県の教育施策の重点でもある※「ことばの教育」や※「キャリア教育」を推進しながら「『知・徳・体』の基礎・基本の徹底」を実現していきます。

※ことばの教育

「聞く」「読む」「話す」「書く」といった基本的な技能や、「ことば」を通して筋道を立てて論理的に考えるといった思考力などを身に付けることをねらいとしている。

※キャリア教育

勤労観、職業観を育てる教育。児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる。



中学校英語 通過率アップの 取り組みに迫る

中学校英語通過率 (単位%)

	平成17年	平成18年
庄原市	74.0	77.0
広島県	77.8	76.3



英語授業で外国人英語指導助手が発音指導

授業研究のススメ

市内全8校の英語教諭12人で英語部会を組織し、基礎基本定着状況調査の結果を分析し、課題を見出し、各校が連携して研修、授業改善などを行っています。

昨年度から、英語教員の研修費を予算化し、市内の学校に指導力の優れた外部講師やエキスパート教員を招き、授業の進め方、効果的な教材、外国人英語指導助手の効果的な活用などをテーマに授業研究をしています。また、市外の中学校を訪問して、エキスパート教員の授業を参観し、よりよい指導方法を学習し、授業に取り入れています。

課題解決に向けた授業改善(各学校の取り組み)

- 効果的なワークシート集を作成し、各校に配布し、よりよい教材を市内で共有。
- 一人ひとりの生徒に目標の達成度や自分の課題はどこか明確にわかるように、英語カルテの作成。
- 個々の習熟度に応じたメニューの工夫。
- 単語力の定着を図るため、校内単語検定の実施。
- 休み明けテスト、授業始めの基礎・基本定着に向けた復習やホームルームでのドリル学習。
- 補修など学力課題生徒へのきめ細かい指導。
- 英語検定への挑戦。
- 外国人英語指導助手の効果的な活用。

英語の勉強が好き、県平均を上回る

県が実施した教科の学習に関する調査によると、英語の勉強が好き、英語の授業が楽しみ、英語の授業がよく分かったと応えた生徒が県平均を大きく上回りました。本市では7人の外国人英語指導助手が各地域で中学校や小学校で授業を行っています。明るく指導力のある外国人と身近に接することで、英語に対する抵抗がなくなり、英語学習の意欲を向上させています。また、各地域の外国人英語指導助手を1カ所に招き、イングリッシュデーを行うなど、一日中英語を話し、外国のゲームや料理、スポーツなど外国文化に親しむ取り組みも行っています。



高野中で行われたイングリッシュデー

英語部会がエキスパート教員を訪問し研修会

庄原市環境 基本条例を制定

環境衛生課環境政策係 0824-72-1398

本市では、これまで「ポイ捨て等防止に関する条例」などを制定し、地域の環境美化の推進やその保全に努めてきましたが、このたび環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「庄原市環境基本条例」を制定しました。

大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきた生産と消費の社会活動が、近年、地球規模での温暖化や家庭ごみをはじめとする廃棄物の増加など、様々な環境問題を引き起こしています。そのことから、庄原市の環境施策の基本理念を示すことにより、市、事業者及び市民が果たすべき責任などを明らかにし、市民が将来にわたり健康で文化的な生活を送ることのできる環境の実現を図るため条例を制定しました。

今後は、この条例に基づき「庄原市環境基本計画」の策定や快適な生活環境に向けて必要な施策を進めていくこととなります。

地球環境の保全を図るとともに、私たちが、心地よいと感じる環境、美しいと感じる環境、安らぎを感じる環境の実現を目指していきましよう。

「買い物には マイバッグを！」

家庭のなかのムダをなくし、ごみの減量を進めるには、身近なところから実践することが大切です。市民の皆さんのちよつとした心がけて簡単にできる行動として、買い物にはマイバックを持参しましょう。レジ袋などの使用を控えることで、資源の節約とごみの減量につながります。

「私たちにできること」

- 出かけるときは、マイバッグを準備しましょう。
- 必要のない包装やレジ袋は断りましょう。
- 詰め替え商品やばら売り商品を買うようにしましょう。
- 事業者の皆さんは、レジ袋の削減と簡易包装に努めましょう。

レジ袋1枚当たり4gから8gくらいあるのをご存知ですか？大きいものではそれ以上。「塵も積もれば山…」たった1枚でも、これが庄原市全世帯ともなると大変な量になるのです。一人が1年間に使用するレジ袋は約230枚(全国

平均)となり、庄原市全体では、約1,000万枚となります。重さに換算すると年間50ト(1枚5gで計算)もの量におよび、2ト積み収集車で25台分の金額にするとおおよそ130万円分のごみ処理経費を節約できる計算にもなるのです。

家に帰るとすぐごみになつてしまうレジ袋も、お出かけの際に小さく折りたたむためのバッグを常に携帯しておけば、レジ袋をもらわなくて済みます。そろそろマイバッグを「当たり前」のことにしませんか。

マイバスケットで買物する消費者





皆さんのご意見を市政に(パブリックコメント) 庄原市国民保護計画(素案)について ご意見を募集します。

5年前にアメリカで起こった同時多発テロや、その後も続くロンドンやバリ島での爆破テロなどにより、世界各地で多くの犠牲者が出ています。日本でも今年7月、北朝鮮の弾道ミサイルが日本海沖へ発射されるなど、そういった脅威と無縁ではいられないという事実を突きつけられました。

このような新たな脅威に対応できるよう、国では武力攻撃事態法や国民保護法といった、いわゆる一連の有事関連法を整備しました。

この中の国民保護法では、万一の武力攻撃や大規模テロが起こった場合、迅速に住民の避難を行うなど、国・県・市・住民などが協力して、住民を守る「国民保護」という仕組みについて定めています。

これに基づき、広島県では平成18年1月に「広島県国民保護計画」を策定し、本市においても本年度中に「庄原市国民保護計画」を策定する予定にしており、このたび計画の素案をまとめました。

この中では、国民保護に対する市の考え方や平素から準備しておくこと、有事の際の具体的な対処のあり方などについて記載しています。

計画の策定に当たり、市民の皆さんの考えを反映するため、この素案を公表しご意見を募集します。

1. 公表する資料

- ①庄原市国民保護計画(素案)
- ②庄原市国民保護計画(素案)の骨子

2. 閲覧方法

- 市のホームページ
(<http://www.city.shobara.hiroshima.jp>)
- 文書閲覧(総務課または各支所地域振興課で閲覧できます)

3. 意見募集の期間

11月6日(月)～11月30日(木)

4. 提出方法

- ①郵送 ②ファックス ③電子メール ④持参
- ※電話など、書面以外でのご意見は受け付けません。
※持参の場合は、総務課または各支所地域振興課へ提出してください。

5. 記入項目

- ①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話またはFAX番号
- ※①と②は必須項目です。必ず記入してください。

6. 提出されたご意見の取り扱い

- 提出いただいたご意見を取りまとめ、次回の庄原市国民保護協議会に報告します。
- 個々のご意見に対して、直接、個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

7. 提出先及び問い合わせ

〒727-8501 庄原市中本町1-10-1

庄原市 総務部 総務課 行政係

☎0824-73-1123

FAX:0824-72-3322

e-mail:

soumu-gyousei@city.shobara.hiroshima.jp

※「パブリックコメント」とは、条例や計画などの一定の政策の策定に際し、①政策の案と資料を公表し、②それに対する意見や情報を広く募集し、③寄せられた意見などを考慮して政策を決定するとともに、④その意見などに対する考え方などを公表することをいいます。

12月10日は『世界人権デー』 12月4日から10日は人権週間です。

～明るく、住みよい人権尊重のまちづくりのために～

人権推進課人権推進係 ☎0824-75-0301

1948年12月10日、国連総会において世界人権宣言が採択されました。この「世界人権宣言」が採択された12月10日を「世界人権デー」とし、日本では12月4日から10日までを「人権週間」と定め、講演会の開催やポスターの掲示など様々な人権啓発事業が全国各地で行われます。

本市においても、この「人権週間」にあわせ、人権リボンの着用や、しょうばら人権フェスタ、人権講演会などを開催します。

【しょうばら人権フェスタ2006】

テーマ 感じよう 考えよう あなたの命 わたしの命

とき 11月26日(日)10時～15時30分

ところ 庄原市ふれあいセンター・庄原市隣保館

- 永江太鼓
- 人権作品の表彰
- ビンゴゲーム
- 映画『ビヨンドサイレンス』の上映
- 各種のバザー
- 市民団体アトラクションなど



昨年の人権フェスタ

【庄原市人権講演会】

とき 12月10日(日)14時

ところ 庄原市民会館

演題
自分らしく輝いて生きる
～すべての人がビューティフル～



講師 タレント・作家
遙 洋子さん

【東城人権講演会】

とき 11月25日(土)14時

ところ 東城町老人福祉センター

演題
七転八倒
"人間やるっきゃない"



問い合わせ
ふれあいセンター東城
(☎08477-2-0909)

講師 タレント
なべおさみさん

くらしと契約

インターネットと消費者トラブル

インターネットは急速に普及し、日常生活に身近なものになってきました。一方で、インターネットによる消費者トラブルも急増しています。インターネットは、簡単かつ瞬時に多くの情報が得られるなど便利な反面、多くの危険も潜んでいます。

通信販売 インターネット ショッピング

インターネットショッピングは、世界中とすぐに取引ができ、上手に利用すれば大変便利なものです。しかしその反面、よく分からないうちに間違った取引をしてしまう、商品が届かない、商品がニセ物だった、業者と連絡が取れなくなる、などといったトラブルもあります。特に、ネットオークションやフリーマーケットは、個人間取引になる場合が多く特別な規制がありません。自己責任において慎重に行いましょう。

！ トラブルに 遭わないために

事例 Aさんの場合

インターネットで買物するのが趣味のAさん。ある時、欲しかった商品を見つけて購入することにしました。画面上の指示に従い、前払いとあったの

● 代金の前払いや代金引換などは、トラブルが起きやすいのでなるべく避けましょう。

● 取引するオークション被害についてまとめたサイトを一読しておく役に立ちます。

● ホームページをよく見て、契約条件・返品特約の確認・証拠確認保存などをしましょう。

● ネットオークションなどの個人間取引や、海外との取引には特に注意しましょう。

インターネット取引は利用者の自己責任が強く求められることとなります。慎重に行いましょう。

消費生活相談コーナー ☎0824-72-1228 (祝日を除く、毎週水曜日)

市民生活課生活安全係 ☎0824-73-1154

農業 収支計算 相談会

農業所得の申告は、実際の収入金額から必要経費を差し引いて所得計算する「収支計算」が原則です。

「収支計算」をするためには、収入金額のわかる書類と、経費がわかる書類が必要になります。また、領収書を残していない経費は認められないことがありますので、農業に係るこれらの書類をなくさないように保存しておくことが必要です。

このため、農業所得の申告をする人を対象に次の内容で相談会を開催します。申告がスムーズに受けられるように、農家の方の積極的な参加をお願いします。

■内 容

月別集計表の作成(2時間)

自分で保存されている収入と経費に関する書類(貯金通帳・請求書・領収書・レシート等)及び説明会資料【収支計算の手引き】をお持ちの方は必ずご持参ください。それを基に各自で月別集計表に書き出させていただきます。

農業収支計算ソフト(パソコン用ソフト)紹介コーナーの設置

現在、市のホームページから農業所得の収支計算を手助けするソフトがダウンロードできます。この農業収支計算ソフトをご自由に体験いただけます。

なお、自分のパソコンでこのソフトを使い、農業の収入と経費を整理したい方は、フロッピーディスクをご持参ください。ソフトをお渡しします。

■開催日程・地区割

月 日	会 場	10時から	14時から
12月14日(木)	庄原市総合 体育館 2階会議室	高・本村	峰田・敷信
12月15日(金)		東・西	北・庄原

※ご都合の悪い場合は、割当て地区以外の日に来ていただいてもかまいません。また、庄原地域以外の開催については別途お知らせします。

申告相談会場の変更

市県民税の申告相談は、これまで、本庁及び一部の支所では、公民館などの出先の会場でも実施してきました。

今回、事務の効率化及び経費節減のための事務の見直しにより、平成19年の申告相談からは、本庁及び各支所ともにそれぞれ一カ所の会場での申告相談に統一することにしました。

これに伴い、申告日程も一部変更となる見込みです。日程については、後日お知らせします。

e-Tax

国税電子申告・納税システム(e-Tax)は、国税に関する各種手続が、インターネットを利用して自宅やオフィスから行うことができる大変便利なシステムです。

例えば

- ①所得税や消費税の申告
- ②ATMやインターネットバンキングなどを利用した納税
- ③青色申告の申請や電子納税証明書の請求、法定調書の提出といった申請・届出などができます。

※e-Taxの開始届出手続きは、インターネットを利用してオンラインでできます。

年末調整説明会

今年も次のとおり年末調整説明会を開催します。昨年と同様、年末調整関係書類が徴収義務者(会社など)へ送付されますので、説明会に送付された年末調整関係書類(同封されている案内状を含む)をご持参ください。

日 時	場 所
11月14日(火)	比和文化会館
11月15日(水)	庄原市民会館
11月16日(木)	西城公民館
11月17日(金)	東城町老人福祉センター

※時間は10時から12時まで

税を考える週間

11月11日(土)～17日(金)

問い合わせ 庄原税務署 ☎0824-72-1001
税務課市民税係 ☎0824-73-1146

市の台所事情

市民生活に欠かせない市の負担ですが...

財政課財政係 ☎0824-73-1129

ごみ・し尿(汲み取り)処理に要する費用 (H18年度予算)

事業名	一般財源 (市の実質負担)	市民負担 (ごみ袋料等)
リサイクルプラザ管理運営事業	4億2,688万円	5,872万円
備北クリーンセンター管理運営事業		
東城RDF化施設管理運営事業		
東城資源ごみ集積所管理運営事業		
備北衛生センター管理運営事業	1億3,819万円	1,185万円
東城し尿処理施設管理運営事業		
甲双衛生組合負担金		

上下水道事業(特別会計等)に支出する一般財源 (H18年度予算)

事業名	一般財源 (市の実質負担)
水道事業補助金、出資金	1億8,247万円
簡易水道事業特別会計繰出金	1億8,755万円
公共下水道特別会計繰出金	5億5,323万円
農業集落排水事業特別会計繰出金	2億5,464万円
浄化槽整備事業特別会計繰出金	928万円

●ごみ処理・し尿(汲み取り)処理に5・7億円

市民の皆さんが日常生活を営むにあたって、ごみや排泄物は必ず出ます。広大な面積となった本市のごみ処理は、庄原地域と東城地域の2カ所で行っています。その処理費用と施設の維持管理費用は、ごみ袋の売上金などによる収入(5,872万円)でまかなわれていますが、約4・3億円の一般財源(市の実質負担)を要しています。

また、し尿処理は庄原地域と東城地域の2カ所で行い、総領地域は甲双衛生組合(三次市)に処理委託をしています。その費用には、市民の皆さんの負担(1,185万円)の

ほかに、約1・4億円の一般財源(市の実質負担)を要しています。

●独立採算がとれない上下水道に11・9億円

水道事業・簡易水道事業、公共下水道事業・農業集落排水事業・浄化槽整備事業は、それぞれ独自の会計(特別会計等)により事業を行っています。基本的には、独立採算による運営が望ましいのですが、市民の皆さんからの料金収入や地方交付税により措置されている経費だけでは運営ができません。一般会計で一部負担しなければなりません。一般会計の負担のうち、市の実質負担となる一般財源は、約11・9億円に及びます。

水道事業・簡易水道事業、公共下水道事業・農業集落排水事業・浄化槽整備事業は、それぞれ独自の会計(特別会計等)により事業を行っています。基本的には、独立採算による運営が望ましいのですが、市民の皆さんからの料金収入や地方交付税により措置されている経費だけでは運営ができません。一般会計で一部負担しなければなりません。一般会計の負担のうち、市の実質負担となる一般財源は、約11・9億円に及びます。

●料金の適正化と事業の見直しも必要

生活するうえで欠かせないごみ処理・上下水道などについては、安定的な事業運営を行い、安心して暮らしていただけるよう努めていかねばなりません。また、少子高齢化への対応、教育・福祉サービスの充実、産業の振興など様々な課題の克服のため、総合的な判断において、市民の方にご理解いただけるよう、各種事業も推進していく必要があります。

本市では、「持続可能な財政運営プラン」を策定しました。プランの計画期間は、平成18年度から平成21年度とし、市民の皆さんの負担増を最小限にとどめるよう慎重な検討を行い、料金の適正化などによる歳入の確保、事業の見直しなどによる歳出の削減についての具体的効果についてまとめました。このプランの内容を達成し、危機的な財政状況を乗り切るため、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

お詫びと訂正

広報しようばら10月号に掲載した「市の台所事情(財政状況と持続可能な財政運営に向けて)」において、グラフの縦軸の単位が「億円」であるのに対し、グラフ中の各ポイントでの数値の単位が「百万円」となっていました。お詫びし、訂正します。

18年度上半期 予算の執行状況

市では、予算がどのように運営されているのかを、市民の皆さんに知っていただくために、毎年財政状況を公表しています。今回は、平成18年度予算の9月30日現在の執行状況をお知らせします。(金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。)

特別会計の執行状況

区分	予算現額	収入済額	支払済額	
特別会計	203億1,009万円	64億4,933万円(31.8%)	76億9,626万円(37.9%)	
国民健康保険	44億4,088万円	14億876万円(31.7%)	16億8,751万円(38.0%)	
老人保健	69億6,101万円	28億6,397万円(41.1%)	31億6,735万円(45.5%)	
公共下水道事業	18億4,798万円	1億9,129万円(10.4%)	4億7,982万円(26.0%)	
農業集落排水事業	16億1,442万円	2,496万円(1.5%)	4億2,610万円(26.4%)	
その他の特別会計	54億4,580万円	19億6,036万円(36.0%)	19億3,548万円(35.5%)	
水道事業	収益的収支 収入	7億548万円	3億3,661万円(47.7%)	
	支出	7億75万円		3億1,482万円(44.9%)
	資本的収支 収入	5億3,665万円	6,767万円(12.6%)	
支出	9億8,278万円		1億4,595万円(14.9%)	
病院事業	収益的収支 収入	16億7,598万円	7億7,627万円(46.3%)	
	支出	16億7,598万円		7億6,494万円(45.6%)
	資本的収支 収入	3,893万円	0万円(0.0%)	
支出	5,981万円		2,320万円(38.8%)	

※()内の数字は、「予算現額」に対する「収入済額」、「支払済額」のそれぞれの割合です。

一般会計の執行状況 (予算現額332億3,250万円)

歳入

39.8%	60.2%
-------	-------

収入済額 132億3,495万円 未収額 199億9,755万円

歳出

28.5%	71.5%
-------	-------

支払済額 94億7,895万円 未執行額 237億5,355万円

安心 & 安全な毎日のために

庄原警察署 0824-72-0110

■身近な犯罪の発生状況(庄原警察署管内)

各年1月～9月末(単位:件)

年	犯罪	乗り物盗	街頭犯罪	侵入窃盗	性犯罪	その他	総合計
平成15年		38	117	27	1	91	274
16年		18	49	48	1	110	226
17年		22	42	48	1	67	180
18年		14	53	39	2	77	185

「アポ電」なりすまし 詐欺急増の兆し

「携帯変えた」連絡に注意!

子どもや孫などの親族を装い、事前に「携帯の電話番号が変わった」などと電話して番号登録させて、後日その電話でお金を要求してだまし取る

「なりすまし詐欺」が東京で急増しています。なお、警視庁によると、98万円など100万円を少し下回る被害が多いようです。

県内では、昨年4月ごろからこの手口で信用させておいて「女性をケガさせたので示談金が必要だ」とか「サラ金にお金を返済するために、会社の金を使い込んだ」などを口実に、現金の振り込みを要求する事案が発生しています。

県内でも急増するおそれがありますので、注意しましょう。

被害を防止するために

●慌ててお金を振り込まない
電話を切って、冷静になつて考えましょう。

●事実を確認する

家族、職場、警察などに電話して、電話の内容が本当かどうかを確認してみよう。

変更前の番号にも電話して確認してみよう。

●警察や消費生活センターなどに相談する

庄原警察署管内の交通事故発生状況(9月末) (単位:件・人・%)

	平成18年	平成17年	増減数	増減率
人傷事故	103	113	-10	-8.8
死者	2	3	-1	-33.3
負傷者	152	181	-29	-16.0
物損事故	567	624	-57	-9.1

交通事故は全般的に、前年同期に比べて減少していますが、例年秋の行楽期には交通事故が増加する傾向が見られ、本年も8～9月中は交通事故が多発しています。次の点に注意して、交通事故防止に努めてください。

一人ですら、遠慮せず相談しましょう。
●家族とコミュニケーションをとる
平素から、遠方の家族の近況を確認しておきましょう。

●運転中は安全確認を確実にして、「ながら運転」をやめましょう!

交通事故の形態では、出会い頭や追突が多く、主な原因は見通しの悪い交差点などでの安全確認の不徹底や窓外の景色に見とれる、またはエアコンやオーディオなどの操作に気を奪われて前方注視を怠ったことなどです。運転中は周囲の安全確認や前方注視の徹底をお願いします。

●歩行者や自転車利用者の方は目立つ服装を!

日暮れが徐々に早まり、いわゆる薄暮時間帯が長くなります。歩行者や自転車を利用する方は、反射材や明るめの色の服装の着用を心がけて、ドライバーから早く発見されるようにしましょう。例年、薄暮時間帯の暗い場所で交通事故が発生しています。ドライバーやライダーの方は、早めのライト点灯に努めてください。

●飲酒運転や飲酒運転を助長する行為は止めましょう!
福岡県で幼児3人が死亡

した飲酒交通事故を契機に、飲酒運転などドライバーのモラル低下が社会問題となつていきます。飲酒運転をすれば、酒気帯び運転で1年以下の懲役または30万円以下の罰金、酒酔い運転で3年以下の懲役または50万円以下の罰金が適用されます。さらに、悪質・危険性の高い飲酒運転による事故は、危険運転致死傷罪が適用される場合があり、人を死亡させれば最長20年の懲役、人を負傷させれば15年以下の懲役を受けることとなります。

このように、飲酒運転に対しては、厳しい罰則が設けられています。飲酒運転は無くならないまま、飲酒運転を無くすには、何よりもドライバーやその周囲の皆さんが、飲酒運転をしない。させないと言う強い意志を持ち、地域ぐるみで飲酒運転を追究する必要があります。飲酒運転は、事故の相手方ばかりでなく、ドライバー本人やその家族までも不幸にする行為であることを、もう一度考えてみてください。

国民年金

保健医療課国保年金係
☎0824-73-1158

年金受給者の方へ

現況届の省略
サービススタート!

12月生まれの方から原則不要

現況届は、1年に1回、誕生月の末日までに社会保険庁に提出していただくもので、引き続き年金を受ける権利があるかどうかの確認をするための大切な届けです。提出が遅れたり、提出されなかったりしたときには、年金の支払いが、一時止まる場合がありますのでご注意ください。なお今年10月から年金を受けている方の現況の確認は、住民基本台帳ネットワークシステムを活用して行うことになりました。これにより、12月生まれの方から現況届の提出は原則として不要になりました。

現行

社会保険庁(社会保険業務センター)から

- ①誕生月の初め頃に現況届を本人に送付
- ②誕生月の末日までに現況届を提出
- ③引き続き年金を支給

12月生まれ
の方から
順次実行

変更後

住民基本台帳ネットワークシステム活用

- ①社会保険庁が現況確認
- ②確認後、現況届不要の案内を送付

以後も現況届の必要な方

- 社会保険庁で保有している本人基本情報(氏名・性別・生年月日・住所)と住民基本台帳ネットワークシステムの情報が相違し、住民票コードが確認できない方(※)
 - 外国籍(外国人登録)の方 ●外国に住んでいる方 ●20歳前の障害による障害基礎年金を受けている方
- (※) 該当者には、平成18年10月以降、随時、社会保険庁から住民票コードを確認できなかった旨のお知らせを送付する予定です。また、平成18年10月以降に社会保険事務所に届出を行うことにより、住民票コードが確認できた場合は、現況届の提出が不要となります。

現況届以外の届けが引き続き必要な場合

- 加給年金額を受けられている場合は「生計維持確認届」 ●障害の程度の確認のために「診断書」が必要なとき
- ※提出に必要な届書は社会保険業務センターから年金を受けている方に郵送されます。

お気軽に年金相談を 11月は「ねんきん月間」～年金はあなたが主人公です～

公的年金制度に対する不安感・不信感が問題になっています。この期間にあわせ、年金についての疑問や不安を少しでも解消してもらうため「一日年金相談所」を開設します。当日は、三次社会保険事務所の担当者が、国民年金や厚生年金について相談に応じます。また、その場で保険料の納付もできますので、ぜひご利用ください。※受付時間は10時～15時
※年金手帳または年金証書を必ずご持参ください。

■相談日程

11月8日	高野地域	高野支所
11月17日	総領地域	総領健康福祉センター
12月5日	西城地域	西城公民館
12月7日	口和地域	口和支所
12月8日	比和地域	比和支所

国民年金と個人年金の比較 国民年金と個人年金では同じ「年金」という言葉を使っていますが、その性格や役割は異なります。

	国民年金	個人年金
加入	国民の義務としてすべての人が加入	個人が自由意志で加入
運営	国	民間の保険会社
給付の特徴	物価変動などに応じスライドするため、将来にわたり年金の価値が保障される	自分の積み立てた範囲で給付が行われる
年金の財源	基礎年金支給額の3分の1と事務費は国が負担し、3分の2を保険料と運用でまかなっている	加入者の掛金と運用により民間の保険会社が自社の必要経費も含めて運営している
年金の種類	老齢・障害・死亡のすべてがカバーされ、さらに、国民年金基金に加入すると年金額も上積みされる終身年金	受けようとする年金の種類や期間が多様であり、それに応じて保険料も多様な有期年金
税控除	納めた保険料は「社会保険料控除」として所得から全額控除されます。また、受ける年金には「公的年金控除」があります	最高5万円までの控除です。受ける年金には税控除がなく全額課税対象になります
その他	生活が苦しい場合には、保険料負担が免除されます	

あなたは大丈夫?! メタボリックシンドローム

保健医療課健康推進係 ☎0824-72-7074

(内臓脂肪症候群)

メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームとは、肥満の人が「高血圧」「高脂血」「高血糖」といった生活習慣病になる危険因子を複数持っている状態のことです。このメタボリックシンドロームという状態は、動脈硬化を急速に進行させることがわかってきました。動脈硬化は自覚症状がなく進行し、心臓病や脳血管障害をはじめとする循環器疾患など、命にかかわる危険な病気を起こす原因となります。「ちょっと太りすぎ」「ちょっと血圧が高め」…そんな「ちょっと」の積み重ねが、後々恐ろしい病気を招くのです。



受診者の約5割は血圧が高め

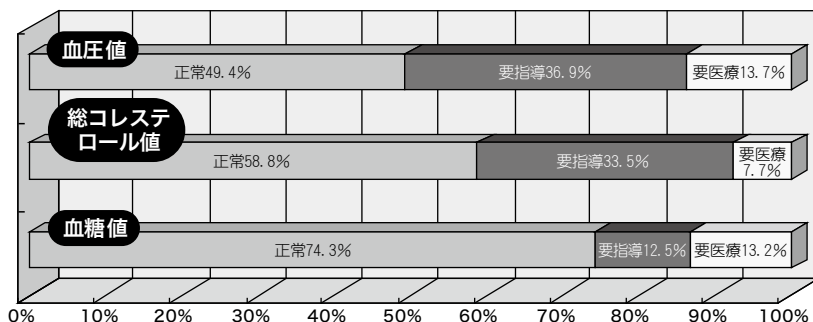
平成18年度生活習慣病健診受診者数
(集団健診分) (単位:人)

庄原	1,100	高野	258
東城	1,386	比和	193
口和	354	総領	154
西城	217 (見込)		

本市では、市民の皆さんの健康管理の一環として、生活習慣病健診を行っています。昨年度の健診結果を見ると、受診者のうち、約5割の方が血圧が高いもしくはやや高め、また約4割の方が総コレステロール値が高いもしくはやや高めと診断されています。

今年度受診された方には結果を通知しています。自分の健康状態を確認し、生活習慣病予防に努めましょう。また、精密検査が必要な方は、早めに必ず受診しましょう。

平成17年度検査項目別結果



※要指導とは？

■血圧値

最高血圧140～159mmHg
または最低血圧90～99mmHg

■総コレステロール値

200～239mg/dl または中性脂肪値
150～299mg/dl またはHDLコレステロール値34～39mg/dl

■空腹時血糖値

110～125mg/dl
またはヘモグロビンA1C:5.5%～6.0%

内臓脂肪を減らそう

今から予防するためには、何よりもまず内臓脂肪を減らす(肥満を解消する)ことがポイントです。

①摂取エネルギーを減らす(食べ過ぎを防ぐ)

- よく噛んで食べ、早食いをしない
- 洋食より和食中心の食事を心掛ける
- 間食はなるべくがまんする

②消費エネルギーを増やす (積極的にからだを動かす)

- 車より自転車、自転車より徒歩で行動する
- エレベーター、エスカレーターは使わない
- できるだけ体を動かすレジャーを楽しむ

国保ヘルスアップ事業

平成18年度から、国の補助を受けて「国保ヘルスアップ事業」に取り組んでいます。この事業は、市内6地域で、健診受診者を対象に、運動の習慣化及び食生活の改善をめざした講座を開催しています。(今年度の募集は締め切りました)

将来の介護予防と医療費の減少をめざして、あなたも自分に合った運動や食生活を見つけて健康な生活を送りましょう。



園児の「お通り」や「神楽」に笑顔広がる 第24回ふれあい東城まつり

10月22日、第24回ふれあい東城まつりが開催されました。メイン会場となった東城小学校グラウンドには、屋台や展示などのテントがずらりと並び、東城保育所の園児による伝統行事「お通り」が再現され、華やかなオープニングで幕をあげました。

山陽女学園高等部のバトンや中国スーパー雑技団の華麗な演技、大人顔負けの舞を披露する田森保育所の園児による「ちびっこ神楽」など、賑やかなステージになりました。「クイズ〇×に答えて賞品ゲット」には多くの方が参加され、そのうち上位16人が「げた飛ばし」への参加資格を得て記録を競い、会場は盛り上がりました。

21日には「ふれあいの夕べ」で銭太鼓、ダンス、カラオケなどが行われたほか、21日から23日までの3日間は、東城文化会館で書道、陶芸、生け花、ちぎり絵などの各種作品が展示されました。



瀬口侑希歌謡ショー



東城保育所による「お通り」

世界一の餅つきや 歌謡ショーで賑わう おいでん祭2006

9月30日・10月1日の2日間、総領健康福祉センター芝生広場をメイン会場に、「おいでん祭2006」が開催されました。

1日目の里山芸術展では、総領の小中学生の工作や書をはじめ、一般の各種作品を展示。2日目は自治振興区などによる各種バザーや健康コーナー、ふるさとステージが行われ、各種団体の発表や大泉逸郎さんと南かなこさんの歌謡ショーなどで盛り上がりました。また、この祭で恒例となった1石(米150kg)の餅を一度につく、亀谷の世界一の餅つきが行われ、つきたて餅の無料配布に行列ができました。



亀谷の世界一の餅つき

元気いっぱい子どもミュージカル ブラウン監督も応援に駆けつける

第7回庄原子どもミュージカルが10月22日、庄原市民会館で行われ、県北の子どもたち72人と大人10人が「オズの魔法使い」を公演しました。

これは、知恵と心と勇気とふるさとをテーマに、主人公のドロシーたちがオズ大王に「知恵と心と勇気」を授けてもらうために旅する物語。子どもたちの元気な歌や踊りで満員の観客を楽しませました。

このミュージカルは、子どもたちの「いい顔」がみたいと平成12年にスタートし、年1回公演を行っています。運営予算を捻出するため、実行委員のボランティアスタッフが、バザーやフリーマーケットなどを実施していますが、

今年は広島東洋カープもベース投げTシャツを寄贈するなど、支援に加わりました。応援に駆けつけたカープのブラウン監督は「とても楽しかった。この物語は信じていることがテーマ。カープの優勝を信じて一緒にがんばりたい」と話していました。



モーモー大行進

牛が主役のイベントに大行列 和牛の里・口和でモーモー祭

第10回モーモー祭りが10月7・8日の2日間、口和総合運動公園で行われ、約24,000人の来場者で賑わいました。

会場では、「モーモー大行進」や「牛と子どもの綱引き」など、牛が主役のイベントが行われ、この祭りの名物である「和牛の炭火焼きコーナー」では4,000パックの肉が完売し、和牛のもつ美味しさを多くの人が味わいました。

主催したモーモー祭実行委員会事務局は「和牛関係者の努力や多くのボランティアの皆さんのおかげで大成功。2年後も会場いっぱいの賑わいにしたい」と話していました。



焼肉を楽しむ来場者

比和の味覚・イベントを満喫 第14回比和やまびこ祭

10月22日、「比和の里、ひびけこの声、心意気」をテーマに、比和総合運動公園で、第14回比和やまびこ祭が開催されました。

会場では、各種イベントが行われ、比和中学校生徒による広島県指定無形民俗文化財「比和牛供養田植」に大きな拍手が送られ、恒例となっている「そば食い競争」では、必死に食べる選手たちに、「がんばれ!」「もっと速く食べて!」と多くの声援が上がっていました。

その他、太鼓の競演や小林幸子そっくりさんの加賀あすかショーなど、市内外から多くの団体が参加し、会場は笑顔と歓声に包まれました。

また、地元の特産市場や市民グループ、自治振興区などの出店者が新鮮な農産物や加工品、うどんやそば、比婆牛のもも丸焼きなどを販売し、来場者は比和の味覚も楽しんでいました。



加賀あすかショー



比和牛供養田植

各地域で行われたイベント&話題を紹介するコーナーです。

カメラレポート

いんこうしゅんはら



火山灰露頭見学会

全国から考古学研究者が集う 第23回中・四国旧石器文化談話会

9月23・24日の2日間、庄原市ふれあいセンターで、土器発明以前の「旧石器時代」を専門とする研究者が全国から集まって「第23回中・四国旧石器文化談話会」が開催されました。

この談話会は、文化財の有効活用に取り組むため市教育委員会が誘致したもので、7人の研究者による基調報告や討論が行われ、参加者は文化財の活用について学習しました。

現在、市内に堆積する「キビツチ」が、考古学者や火山灰学者から注目されはじめています。「キビツチ」とは、5万年以上前から2万年前ころにかけて、島根県の三瓶山が何回かの大噴火をおこしたときに飛来した軽石の地層を呼ぶ、この地方の方言です。

市内には、東城町の帝釈峽遺跡群をはじめ、合わせて7カ所の旧石器時代遺跡がありますが、将来、最初に降り積もったキビツチの「雲南降下火山灰」(5万年以上前)よりも下の地層から石器が見つければ、日本最古の人類遺跡という可能性を秘めています。このため、2日目に行われた尾引町内の火山灰露頭見学会は、研究者の熱気で大いに盛り上がりました。



左から3人目が大野さん

元Jリーガーによるサッカー教室 トップアスリートから技術を学ぶ

9月24日、比和総合運動公園で、Jリーグ鹿島アントラーズなどで活躍した大野俊三さんによるサッカー教室が行われました。

これは、子どもたちにスポーツの楽しさを体験してもらおうと、市教育委員会が企画。市内の小・中学生100人が参加しました。

ボールと友だちになろうとボールを正確に蹴り返す基本練習やPK合戦、ミニゲームなどを行い、大野さんは「大きな声を出す、ボールから目を離さない、動きに緩急をつける、ボールをしっかり止めてゴールを狙うことが大切」などと指導しました。子どもたちは、大野さんの卓越した技術に触れ、大きな刺激を受けていました。

シビルさんのやさしい英会話

総領で毎週火曜日開催

8月にカナダから総領町へ新任の英語指導助手として来られたリトウィラー・シビルさんが、9月26日から毎週火曜日に総領文化会館で英会話教室を開催しています。

初回はパソコンを使ってクイズ形式で自己紹介を行うなど、初心者でも安心して参加できるやさしい英会話が好評でした。毎回シビルさんの様々なアイデアで行われ、今後はお菓子作りなども予定されています。

初心者はもちろん総領地域以外の方も随時参加できます。詳しくは総領支所総領生涯学習係(☎0824-88-3067)へお問い合わせください。



黒滝と呼ばれる岩盤に大文字草が自生

ダイヤモンドソウ

吾妻山に自生する大文字草を訪ねる やまなみ大学「あずま四季めぐり鑑賞会」

10月1日、休暇村吾妻山と地元「越原みこと会」が、やまなみ大学の講座で吾妻山の黒滝に自生する貴重な花「大文字草」を訪ねるイベントを開催しました。

大文字草は、湿気のある岩盤に自生し、花びらが「大」の字に見えることから大文字草と名づけられた花。

雨の中、市内外から参加した30人は雨具に身を包み、休暇村吾妻山を出発。比和自然科学博物館の中村真吾館長や地元の皆さんが黒滝までの約1時間、吾妻山の植物について解説しました。参加者は目的地に着き、しっかりと濡れた黒滝に咲いている大文字草の花を見つけると、可憐で愛らしく咲く光景にしばらく見とれていました。



花びらが「大」の字に見える大文字草

過去最多の 29団体が熱戦 しょうばら桜花杯 空手道大会が 10回記念

しょうばら桜花杯空手道大会が10月1日、庄原市総合体育館で開催されました。

平成8年に庄原市で行われた国体空手道競技会の成功を記念して始まったこの大会は、今年第10回の記念大会を迎え、中国地方4県から29団体354人が参加しました。

競技は、小学生から中学生が各クラスに分かれ、組手の部、形の部で熱戦を繰り広げ、昨年に続き庄原市空手道スポーツ少年団が総合の部で準優勝に輝きました。

主な成績

組手団体戦 中学校男子の部 優勝 庄原市空手道スポーツ少年団
中学校女子の部 優勝 庄原市空手道スポーツ少年団
組手個人戦 中学校女子の部 優勝 加藤巴穂(庄原)
中学校男子の部 準優勝 保田洋紀(庄原)
小学校5・6年生女子の部 第3位 福原愛美(庄原)
形団体戦 中学校の部 第3位 庄原市空手道スポーツ少年団



芸術・文化の秋、 市民の力作が集う 庄原市美術展覧会

第2回庄原市美術展覧会が10月15日から20日と、25日から29日までの2回に分け、田園文化センターで開催され、市民から応募があった作品212点が展示されました。

日本画、洋画、写真、彫刻、工芸、書の6部門に応募があり、各部門で大賞と奨励賞が選ばれました。審査員は「個性的な作品が見られ楽しませてくれる、大作は見ごたえがあり、レベルが高い」などと評価。会場には連日多くの人が来場し、「立派な作品がたくさんあってびっくり」と感心していました。



前期展(日本画、洋画、写真)に583人が来場

和太鼓の競演 第5回TAIKO交流会

9月23日、ウイル西城の2階ホールで「第5回TAIKO交流会」が開催されました。

市内から口和備神太鼓・本村葦嶽太鼓・高要害太鼓・比和吾妻太鼓・上谷不老仙太鼓・総領響心太鼓・庄原永江太鼓・西城川子供太鼓・西城川太鼓の9団体が参加。小学生から60歳代まで、総勢70人の演奏者が、団体ごとに趣向を凝らした衣装に身を包み、地域の自然や文化を題材にした曲の演奏で聴衆を魅了しました。

この催しは、庄原市内の各地域で演奏活動をしてい



西城川太鼓

る和太鼓の団体が、交流を通して技術を磨き、親睦を深めることを目的に始まり、各地域持ち回りで開催されています。

出演者の皆さんが実行委員会を組織し、手づくりで準備を進めてきましたが、多くの人に演奏を聞いてもらいたいとの思いから入場は無料。日本人の心を表した和太鼓は幅広い年齢層に人気で、西城地域内外から約200人の観客でウイルホールは満席になりました。

総合的な学習で生きる力を身につける 西城中が「しあわせ館」でボランティア活動

9月20日、西城中学校3年生が西城保健福祉総合センター「しあわせ館」でボランティア活動を行いました。

3年生は、総合的な学習の一環として、「人として生きる力を身につける」ことをテーマに、6月からしあわせ館を訪れ、ワークショップや福祉活動体験を行い、学習を深めています。今回は、たくさんのボランティアグループが集う西城地域の福祉の拠点、しあわせ館で様々なボランティア活動をしました。

地域の木工名人の指導で柵や看板を作ったり、花壇を作り花を植えたり、清掃活動などに取り組んだほか、折り紙などの壁飾りやダンボールのアーチなどで室内をにぎやかに彩りました。

後日、3年生全員からしあわせ館に届いた手紙には「しっかり協力すること、声を掛け合って助け合うこと、一生懸命最後までやり抜くことを学びました」など、一人ひとりの思いがこめられていました。



花を植える生徒たち



フラダンスのステージ

市民アーティスト発表のステージ 第10回生涯学習フェスティバル

10月21日～23日の3日間、西城地域の住民が日頃の生涯学習の成果を発表する「生涯学習フェスティバル」が開催されました。

生涯学習フェスティバルは、西城公民館での作品展示「第40回庄原市西城町美展」、ウイルホールでの芸能舞台「第10回であいとふれあいフェア」、支所庁舎前での「お茶席」の3会場で行われ、多くの来場者で賑わいました。

町美展には、絵画・工芸・手芸などの各部門に、児童・生徒の作品273点を含む530点が出品。であいとふれあいフェアでは、歌、踊り、楽器演奏などのほか、3B体操、フラダンスなど、今年度始まった公民館教室の発表も加わって18団体が出演しました。

各団体の出品者、出演者が実行委員会をつくり、公民館を中心に準備を進めてきました。生涯学習フェスティバルの意義について公民館館長の牧原正治さんは、「目標を持って学び、市民自らが企画運営に携わることで、生涯学習への意欲が増し、裾野が広がります。このイベントが新しい地域文化の創造につながると期待しています」と話していました。

地域の職業にふれ、 将来の夢に向かって一步 高野中2年生が職場体験学習

9月27・28日の両日、高野中学校2年生22人が、働くことの意義を理解し、自己の個性・適正に対する認識などを深めることを目的として、高野町内の10事業所で職場体験学習を行いました。

日頃、家庭でのお手伝いとは違い、接客や商品の仕分け、洗車作業、保育の補助、消防署での消防器具の扱いなど、多様な分野を体験。高野支所では、保健師業務のほか、防災無線放送の録音や、獣害を防止する電気柵の設置完了写真の撮影などをしました。高野支所での体験を終えた繁田達成くんと泉円香さんは、「市役所の仕事が幅広い事を実感できた。将来の夢を実現するために今をがんばりたい」などの感想が聞かれました。

高野中学校2年生は、6月の農作業体験、今回の職場体験に続き、11月3日には高野の産品を直接仕入れ、市内のイベントで販売体験学習をしました。



電気柵の設置完了写真を撮る泉さん

高野地域に待望の老人福祉施設オープン 特別養護老人ホーム「故郷高野」開所

9月29日、社会福祉法人東輝会による特別養護老人ホーム「故郷高野」が、高野町新市に開所しました。

この施設は、高野の豊かな自然に囲まれて、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるユニット形式を特徴として、特別養護老人ホーム30床とショートステイ10床の利用定員となっています。外観は景観に調和する木造風平屋建てで、自然光を取り込めるようガラスを多用すると共に、内部には木材を使い、入居者に優しい明るい安らぎの空間が保たれた構造となっています。

旧高野町からの待望事業として計画されたこの施設は、老人福祉の拠点とともに、雇用の場としても地域から期待されています。



旧新市小学校跡地に建設

東城に子育て支援の拠点 児童健全育成施設「こどもの館」オープン

10月2日、旧東城保育所施設の一部を改築し、子育て支援の拠点となる「こどもの館」がオープンしました。

この施設には、「東城放課後児童クラブ」と「子育て支援センター」、「おもちゃ図書館たんぽぽ」があり、子育て家庭や地域の方々との交流の場、子どもの遊び場として利用できます。また、子育て支援センターには、畳の部屋やベビーベッド、乳児用のおもちゃや絵本などを備え、保健師が実施する妊婦教室や乳幼児健診なども行われます。

オープン以来、「帰りました」とランドセルを揺らしながら帰ってくる小学生や赤ちゃんを連れてお母さんの姿が毎日見られ、利用者からは「子どもが毎日のように行きたがりです」「子育てが楽しくなりました」といった声が聞かれています。

開館時間など詳しいことは、こどもの館 ☎08477-2-0160へお問い合わせください。



放課後児童クラブで勉強する子どもたち



身体障害者定期相談(判定)会

「肢体」 11月16日(木) 受付13時~14時

消費生活相談コーナー

買い物や契約でトラブル、おかしいな、困ったなと思つたことなど、消費生活に関する苦情・相談について、専門の消費生活相談員が相談を受けます。お気軽にご相談ください。

9時~12時 13時~16時 問い合わせ 消費生活相談コーナー FAX0824-73-1228

心の健康相談

ストレス・対人関係の悩み、不眠やイライラ、思春期などの心の悩みや問題について相談を受けます。

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。 ●庄原地域 とき 11月14日(火) 28日(火)



インフルエンザ予防接種

希望者を対象に、インフルエンザの予防接種を行います。対象者 庄原市に住所があり、次のいずれかに該当する方。

期間 12月28日(木)まで 場所 庄原市内医療機関など。 予約などについては、医療機関にお問い合わせください。



まちづくり実践リレー講座

「第5回 高野会場」 演題 「コミュニティビジネスの実践〜生産から販売まで〜」

とき 11月18日(土) 13時30分~15時30分 ところ 東城支所

●高野地域 とき 12月7日(木) 13時~16時 ところ 高野支所 ●総領地域 とき 11月10日(金) 9時~12時

社会保険一日相談

年金を中心とした社会保険全般の相談を受けます。 ●庄原地域 とき 11月14日(火)

定期巡回児童相談

備北こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。 ●東城地域 とき 11月15日(水)

秋の企画展開催中

「古代の山村―弥生時代の庄原―」 稲作が始まった弥生時代の山村のくらしを展示紹介しています。

とき 11月26日(日) 9時30分~16時 ところ 口和文化ホールヒューマンライツ

とき 11月17日(金) 10時~15時 ところ 庄原市老人福祉センター ※1週間前までに予約してください。

女性の人権ホットライン

広島法務局と広島県人権擁護委員連合会では、男女差別やドメスティックバイオレンスなど、女性をめぐる様々な人権問題を積極的に把握し、問題解決のために援助する専用電話相談「女性の人権ホットライン」を常時開設しています。

市民公開講演会

とき 11月14日(火) 18時30分~ ところ 庄原グランドホテル 講演 「広島県域における医師配置の調整プロジェクト―選択と集中―」

とき 11月22日(水) 14時~16時 ところ 広島法務局庄原支局 定員 20人

「親が亡くなって相続したけど、家や土地の登記名義はどうすればいいの?」「登記申請は難しそうだけど、私たちでもできるの?」など、相続を原因とする登記申請についてお悩みの方はいませんか。

相続登記申請の説明会

皆さんを対象に、相続登記申請に関する説明会を実施します。登記申請書の作成方法や必要な書類などについて、登記官が分かりやすく説明します。

市民公開講座

「ちょっと気になるおしつこのはなし―おしつこで困っていませんか―」 前立腺がんと頻尿・尿もれについての講演をします。

とき 12月9日(土) 14時~16時 ところ 中央公民館 集会所 問い合わせ 庄原赤十字病院 FAX0824-72-3111

庄原さくら学園・庄原もみじ園学園祭

きて、みて、あそぼう学園祭。
 とき 11月23日(祝)
 10時～15時
 ところ 庄原さくら学園グ
 ラウンド及び作業棟
 内容 農産物の販売、バザー
 や売店、太鼓・踊り・神楽など
 問い合わせ
 庄原もみじ園
 ☎0824-72-2962

口和走ろう会・駅伝大会

とき 11月23日(祝)
 開会式 9時
 スタート 走ろう会(2km・
 3kmの部)9時30分
 駅伝の部(6区間)10時
 基点(スタート地点)
 口和支所前
 問い合わせ
 庄原市体育協会口和支部
 ☎0824-87-2213

庄原市
スター式駅伝大会

師走の庄原路を、約1、
 000人のランナーが駆け
 抜けます。基点となる総合体
 育館前では、バザーなども用

晩秋のブナ林サクサク
 落ち葉の道を歩こう
 吾妻山から比婆山御陵へ
 冬支度の比婆山を散策します。
 とき 11月18日(土)・19日(日)
 ところ 県民の森
 参加費 10,000円
 申し込み・問い合わせ ひろ
 しま県民の森公園センター
 ☎0824-84-2011

西城温水プール「水夢」
 フェスティバル水泳大会
 とき 12月23日(祝)
 開会式 9時
 アトラクション 9時20分
 競技開始 9時40分
 競技方法 幼児の部(3歳以
 上)、小学生・中学生・高校生
 の部、一般(大学生以上)の部
 別、24種目で行う。
 参加費 幼児無料、小中高
 500円、一般1,000円
 その他 アトラクションア
 イデア満載の水中運動。参加
 自由。初心者可。
 問い合わせ
 西城温水プール「水夢」
 ☎0824-82-2446

意されます。
 とき 12月3日(日)
 開会式 9時10分
 スタート 高校生、職域、一
 般 10時30分
 中学校、女子(中学校・一般)
 10時50分
 基点(スタート地点)
 総合体育館前
 問い合わせ
 庄原市体育協会
 ☎0824-72-6880

生涯学習課スポーツ振興係
 ☎0824-73-1196



竹細工教室

とき 11月26日(日)
 13時～16時
 ところ 峰田竹の里工房
 対象者 小学校5年生以上
 参加費 一般1,000円
 小・中・高校生500円
 募集人数 25人
 応募締切 11月20日(月)
 申し込み・問い合わせ
 農林振興課振興係
 ☎0824-73-1132

広島県雪合戦大会

とき 2月3日(土)・4日(日)
 ところ 高野スポーツ広場
 特設会場(高野町)
 募集チーム数
 一般の部 72チーム(うち1
 日目予選リーグ36チーム)
 レディースの部 12チーム(選
 手は女性のみ)
 ジュニアの部 12チーム(選
 手は小学生のみ)
 募集期間 11月15日(水)～
 12月15日(金)
 参加費 (1チーム)
 一般・レディース10,000円
 円 ジュニア5,000円
 その他 「一般の部」および「レ
 ディースの部」の優勝チーム
 は、県代表チームとして「第
 19回昭和和山国際雪合戦大会」
 (2月24・25日、北海道)への
 参加資格が与えられます。
 申し込み・問い合わせ
 広島県雪合戦大会実行委員
 会事務局
 ☎FAX0824-86-3250
 〒727-0402

高野支所高野生涯学習係
 ☎0824-86-2195

ひざぬりと
しめ縄づくり

新年に向けたしめ縄づく
 りと、無病息災を祈願する地
 域の伝統行事「ひざぬり」を
 体験できるイベントです。師
 走の1日を楽しみにお越し
 ください。
 とき 12月3日(日)
 9時30分～14時
 ところ ふれあいの里越原
 申込期限 12月1日(金)
 定員 30人
 参加費 1,500円
 申し込み・問い合わせ
 比和支所地域振興課
 ☎0824-85-3000

昔ながらの
焼きトウフづくり

地元産の原料と昔から伝
 えられてきた技法にこだわ
 ったトウフづくりです。本格
 的で懐かしい焼きトウフづ
 くりが体験できます。
 とき 11月19日(日)
 10時～14時
 ところ ふれあいの里越原
 申込期限 11月14日(火)
 定員 20人
 参加費 1,500円

リサイクル講座

クリスマスキャンドルづ
 くりを行います。
 とき 11月26日(日)
 10時～12時
 ところ リサイクルプラザ
 定員 10人程度
 参加費 実費500円程度
 申し込み・問い合わせ
 リサイクルプラザ
 ☎0824-72-1398



指定管理者を公募

上野総合公園 斎場
 平成19年度からの指定管
 理者制度導入を予定してい
 る庄原市内の斎場2件「市内
 7カ所を東東城、西城」と西
 原他4カ所)にブロックを分
 ける」と上野総合公園(一部区
 域)について、10月25日から11
 月22日まで公募を行って
 います。
 募集要項など詳しい内容は、
 市のホームページでご覧い

申し込み・問い合わせ
 比和支所地域振興課
 ☎0824-85-3000

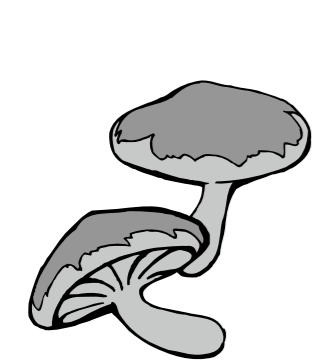
「庄原文芸」第35号

庄原文芸は、市民の皆さん
 の文芸活動の広場です。今年
 も次の要領で原稿を募集し
 ます。
 応募資格 庄原市文化協会
 加盟のサークルに所属して
 いる人、および庄原市内に在
 住・勤務・通学の人、もしくは
 当協会から特別寄稿をお願
 いした人。
 募集部門 詩(二人一篇)、
 短歌(二人四首)、俳句・川柳(二
 人六句)、写真・絵(一人一点)、
 小説・随筆・創作・記録など(一
 人一点)
 出稿料
 ・原稿用紙1枚を1,500
 円とし、以後1枚増すごとに
 500円を加算してください。
 ・文中に写真を挿入される場
 合は、写真E版1枚を原稿用
 紙1枚分に換算してください。
 ・写真・絵部門は、誌面1ペ
 ージ使用のため原稿用紙3
 枚分になります。(出稿料2、
 500円、カラー15,000円)
 ・なるべく各サークルでまと
 めて、次の口座まで振り込ん

ただけるほか、施設の担当課
 (斎場/市民生活部市民生活
 課、上野総合公園/環境建設
 部都市整備課)で配布してい
 ます。
 問い合わせ 財政課管財係
 ☎0824-73-1124

七塚原子ども里山教室

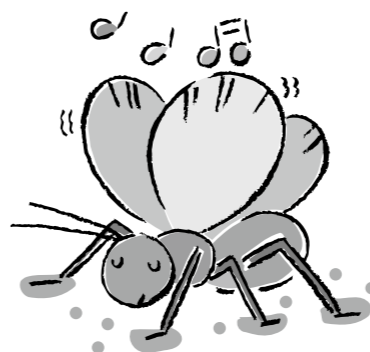
里山の手入れを体験し、里
 山の魅力を学習します。
 とき 11月25日(土)・26日(日)
 ところ 高原の家七塚
 対象者
 小学校3年生～6年生30人
 大人5人程度
 参加費 小学生4,000円
 大人5,000円
 申込方法
 電話またはFAXによりお
 申し込みください。
 応募締切 11月20日(月)
 問い合わせ 高原の家七塚
 ☎0824-75-2033
 FAX0824-74-0827



平成18年度 自衛官採用試験の案内

採用種目	応募資格	受付期間	試験期日
2等陸・海・空士	18歳以上 27歳未満の男子	10月23日～ 11月27日	12月2日・3日・4日の いずれか1日

問い合わせ 自衛隊三次地域事務所 ☎0824-62-0350 総務課行政係 ☎0824-73-1123



でください。
 郵便振替 口座番号
 01390-3-50520
 名義 庄原市文化協会「庄原
 文芸」係
 応募締切 1月31日(水)
 ※締め切り厳守でお願いし
 ます。
 送付先
 〒727-0005 庄原
 市川手町1318-3
 「庄原市文化協会・庄原文芸」
 係 林武志
 その他
 ・原稿用紙は縦書きです。文
 字は丁寧にお書きください。
 ・作品には、住所・氏名をお忘
 れなくご記入ください。
 問い合わせ 林武志
 ☎0824-72-3286

税金

農耕用車両の
軽自動車税について

旧庄原市では、農業の振興を図るため農耕用車両に対する軽自動車税を課税していませんが、旧比婆郡5町および旧総領町では地方税法に基づき課税を行っています。税の均一性を図るため、合併協議会で旧庄原市については、平成19年度までは経過措置として従来どおり非課税とし、平成20年度から課税を行うようにしています。(税率は、1台当たり年額1、600円です。)

農耕用車両でも乗用装置を備えたもので、道路運送の用に供される場合は、車両標識の交付を受ける必要があります。農耕用車両を所有し、車両標識(緑色)の交付を受けていない方は、税務課資産税係で標識の交付を受けてください。

その他

古い電話帳の
回収にご協力を

NTT西日本では、11月から順次新しい電話帳をお届けします。その際、現在お使いの電話帳は、回収させていただきますので、お手数ですが配達員へお渡しください。NTTでは、地球環境問題に関する取り組みとして、純正パルプの使用量削減に努めており、古い電話帳はリサイクルして新しい電話帳に再生しています。

なお、配達の際にご不在の場合は、別途回収に伺いますので、タウンページセンター0120-506-309へお電話ください。また、お届け内容・配達冊数の変更などもお気軽にお申し付けください。

問い合わせ
税務課資産税係
0824-73-1144

問い合わせ
NTT番号情報株式会社中国支社
082-270-5216

広島の情報満載
広島県民手帳を販売中

県民手帳は、主な公的機関の住所名簿や、消費生活相談などの各種相談窓口など、仕事や暮らしに役立つ情報がいっぱいです。また、県内のお勧め観光スポットや慶弔電報文例など、生活手帳として大変便利です。

市役所の窓口で販売していますので、便利で安価な県民手帳をぜひご利用ください。★ポケット版には、新しい市町名の県内郵便番号一覧表も掲載されて便利です。

★デスク版は、文字が大きく、なつて見やすくなっています。
価格
ポケット版1冊500円
デスク版1冊1,000円(消費税込み・送料別)

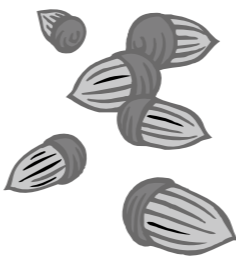
問い合わせ
情報推進課広報統計係
0824-73-1159

一人暮らし
高齢者住宅の防火診断

最近の火災事例によると、全国的に住宅火災による死者は増加傾向にあり、中でも死者の半数以上が高齢者となっています。

このため、庄原市消防団庄原方面隊と庄原消防署は、高齢者の安全確保をより一層推進するため、毎年、春と秋の全国火災予防運動にあわせて、一人暮らしの高齢者住宅の防火診断を行っています。消防団員と消防署員の2、3人が、該当地区の巡回相談員とともに訪問しますので、ご協力をお願いします。

期間 11月3日(金)から12月3日(日)までの土・日・祝日の午前中
実施地区 北地区(川北町・門田町・濁川町)と本田地区(本村町・上谷町・峰田町・春田町)
問い合わせ 総務課行政係
0824-73-1123



この特別給付金は、戦傷病者を長年介護されてきたご苦勞に対し、国として特別の慰藉を行うため、戦傷病者などの妻に対して支給されるものです。
特別給付金を受給するには請求手続きが必要ですので、対象者で、まだ請求されていない方は、社会福祉課高齢者福祉係(0824-73-1165)または各支所担当課へお問い合わせください。
○対象者
昭和6年9月18日以後に受傷り病し、これにより障害の状態となったことで年金などを受けているもので、障害の程度が第5款症以上である戦傷病者などの妻。(婚姻の届出はしていないが、事実上婚姻関係にある場合を含みます。)
戦傷病者などが平成15年4月1日以後に死亡の場合は、今回の法改正では対象外となりますので、ご注意ください。(5年後の法改正時に対象となります。)

戦没者などの妻へ
特別給付金を支給

この特別給付金は、夫を失ったこと、生計の中心者を失い経済的困難と闘ってこなければならなかったことなどの特別の精神的苦痛を考慮、国として特別の慰藉を行うため、戦没者などの妻に対して支給されるものです。
特別給付金を受給するには請求手続きが必要ですので、対象者で、まだ請求されていない方は、社会福祉課高齢者福祉係(0824-73-1165)または各支所担当課へお問い合わせください。

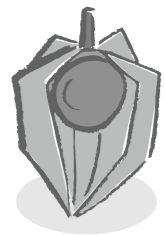
○必要なもの
・印鑑
・恩給証書(公務扶助料、遺族年金等)の写し
・これまでに国債を受給した人は、その国債または裁定通知書の写し
・請求者の平成18年10月1日時点の世帯全員の住民票(省略事項のないもの)
・戸籍など各書類(個々の状況によって異なりますので受付時にご案内します。)
○請求期限
・平成21年9月30日

○対象者

援護法などに規定する軍人軍属または準軍属が、昭和12年7月7日(または昭和6年9月18日)以後公務上または勤務に関連して死亡したことに、一定の基準日において、恩給法による公務扶助料や特別扶助料、援護法による遺族年金や遺族給与金の受給権を有する戦没者などの妻。(婚姻の届出はしていないが、事実上婚姻関係にある場合を含みます。)

○必要なもの

・印鑑
・恩給証書(公務扶助料、遺族年金等)の写し
・請求者の平成18年10月1日時点の世帯全員の住民票(省略事項のないもの)
・戸籍など各書類(個々の状況によって異なりますので受付時にご案内します。)
○請求期限
・平成21年9月30日



マル経融資の
利子補給助成金

小企業等経営改善資金融資(マル経融資)の利子補給制度を設けています。

国民生活金融公庫が融資を行う小企業等経営改善資金融資(マル経融資)について、その利子の一部(年1パーセント)を市が助成します。

※利率が1パーセント未満のときはその利率
申し込み・問い合わせ
商工会議所(0824-72-2121)または商工会へお願いします。

除雪作業について

県や市では、積雪時の通行確保のため、少しでも早く除雪するように努めています。近年の降雪、積雪の早期化に対応するため、除雪期間を次のとおり改めます。

これに伴い、県道の冬季閉鎖路線についても「変更後」の12月1日から閉鎖を行い、また、新たに次の路線を追加します。

除雪期間(ただし除雪期間外でも積雪期には対応)
変更前 12月15日から3月

戦傷病者などの妻へ
特別給付金を支給

この特別給付金は、戦傷病者を長年介護されてきたご苦勞に対し、国として特別の慰藉を行うため、戦傷病者などの妻に対して支給されるものです。

特別給付金を受給するには請求手続きが必要ですので、対象者で、まだ請求されていない方は、社会福祉課高齢者福祉係(0824-73-1165)または各支所担当課へお問い合わせください。

○対象者
昭和6年9月18日以後に受傷り病し、これにより障害の状態となったことで年金などを受けているもので、障害の程度が第5款症以上である戦傷病者などの妻。(婚姻の届出はしていないが、事実上婚姻関係にある場合を含みます。)

戦傷病者などが平成15年4月1日以後に死亡の場合は、今回の法改正では対象外となりますので、ご注意ください。(5年後の法改正時に対象となります。)

末(国道・県道は3月15日)
変更後 12月1日から3月

末(国道・県道は3月15日)
冬季閉鎖追加路線
路線名
一般県道油木小奴可線
閉鎖区間 西城町小島原から西城町高尾までの区間

通行確保のため、効率的な除雪作業に努めています。積雪量、障害物などにより、作業が遅れる場合もありますが、すので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。
問い合わせ
国道・県道の除雪について
広島県備北地域事務所建設局庄原支局維持課
0824-72-2015
市道歩道などの除雪について
0824-73-1152
または各支所担当課

電話帳広告料金の
請求について

最近、「タウンページ」や「ハローページ」に掲載されている広告を切り抜いて貼付した郵便局・銀行の振込用紙を送りつけ、料金を請求する架空請求の事例が発生しています。
NTTグループが発行してい

エイズ検査・相談

備北地域保健所では、無料で匿名で受けられるエイズ検査を毎月第2水曜日の13時~15時に行っています。検査は事前予約が必要です。当日は保健師が問診及び採血を行い、結果はその日のうちにお知らせします。また、エイズ相談は随時、電話でも受け付けています。どちらも秘密は厳守されます。
とき 12月13日(水)
13時~15時
ところ 備北地域保健所
問い合わせ
備北地域保健所
0824-63-5181

犬・猫の引き取り 11・12月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

	日 程	場所および時間
庄原地域	毎月第1～第4火曜日 11月7・14・21・28日 12月5・12・19日	東公民館……11時～11時10分 市役所車庫前……11時25分～11時35分 敷信公民館……11時50分～12時
西城地域	毎月第1・第3木曜日 11月16日 12月7・21日	西城支所……9時～9時10分
東城地域	毎月第1・第3木曜日 11月16日 12月7・21日	小奴可研修センター……9時40分～9時50分 東城文化会館……10時20分～10時30分
口和地域	11月・12月は第4金曜日 11月24日・12月22日	口和支所……11時40分～11時50分
高野地域	11月・12月は第4金曜日 11月24日・12月22日	高野支所……13時20分～13時30分
比和地域	11月・12月は第4金曜日 11月24日・12月22日	比和支所……13時50分～14時
総領地域	毎月第2水曜日 11月8日・12月13日	総領支所……9時40分～9時50分 (スクールバス駐車場)

※庄原地域の12月26日は、定期収集がありません。
※口和・高野・比和地域については、11月23日が祝日となりますので、11月24日に引き取りを行います。
※口和・高野・比和地域については、12月28日が休日となりますので、12月22日に引き取りを行います。

献血のご案内 献血を、つぎのとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会 場	受付時間
12月4日(月)	ジョイフル	11時30分～15時

■問い合わせ 保健医療課医療係 ☎0824-73-1155

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX
市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

12月の展示案内

- しめ縄・藁細工展
8日(金)～11日(月)
10時～17時 ※入場無料
- 問い合わせ
庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-4347(白川)
生涯学習課社会教育係 ☎0824-73-1188
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1179
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はいりません。

広報日記

先月号から「クローズアップ」というコーナーを設け、全国大会で活躍された方など、注目の人やグループを紹介しています。各種大会での活躍や地域の皆さんが努力されている活動に接する機会も多く、感動し「庄原市ってすごい」と感じます。そのことを紙面を通して多くの方に伝えていきたい、頑張っている人を応援していきたいと思えます。この人々をこのグループを全市民へ紹介したいなどの情報がありましたら、広報統計係へご連絡ください。

休日診療のご案内 11月・12月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

月日	診療所名	電話番号
11月12日(日)	藤野 医 院	0824-72-4646
19日(日)	備北ななつか病院	0824-75-2070
23日(祝)	毛 利 医 院	0824-72-2863
26日(日)	児玉(納) 医 院	0824-72-0147
12月3日(日)	庄原赤十字病院	0824-72-3111

※庄原赤十字病院については、救急患者に限ります

●東城地域

月日	診療所名	電話番号
11月12日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255
19日(日)	細 川 医 院	08477-2-0054
23日(祝)	東 城 病 院	08477-2-2150
26日(日)	瀬 尾 医 院	08477-2-0023
12月3日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255

くんち いち

12月の九日市

庄原地域の市街地で、毎月9日に開催される市です。

と き 12月9日(土) 10時～

と ころ 中本町筋・下本町・中央通り
ぜひお越しください。

市税 水道料金 下水道使用料

納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。

◎ 税務課収納係 ☎0824-73-1145
◎ 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
◎ 水道課業務係 ☎0824-73-1197

人の動き (9月末日現在)

【住民基本台帳登録人口】

- 人 口 43,296人(前年比-660人)
- 男 20,524人(前年比-335人)
- 女 22,772人(前年比-325人)
- 世帯数 16,279世帯(前年比+15世帯)

【外国人登録人口】

- 人 口 321人(前年比+23人)

備北丘陵公園



備北公園管理センター
☎0824-72-7000

「キャンプリーダー」研修会

参加者大募集

備北オートビレッジでは、今年度も「キャンプリーダー」研修会を開催します。

この研修会は、野外活動やキャンプの経験がない初めての方でも楽しく分かりやすく、実践を経験しながらキャンプリーダー証をお渡しします。知識や技術・指導力や創造力を基本から身に付けられる研修会となっております。

研修のプログラムは、子ども会でのキャンプや学校の野外活動、会社でのレクリエーションなどいろんな場所でも役に立っている内容です。

なお、この研修会に参加される方は、

【講習日程】
11月11日(土)～12日(日) 泊2日
12月9日(土)～10日(日) 泊2日
1月27日(土)～28日(日) 泊2日
2月24日(土)～25日(日) 泊2日

いずれも国営備北丘陵公園備北オートビレッジ内で開催します。

30項目中20項目受講の場合は、国営備北丘陵公園キャンプリーダーと認定し、キャンプリーダー証をお渡しします。

【募集定員】 先着20人(18歳以上(高校生不可))

【参加費】 初回4,500円(保険料、教材費、食費を含む)
2回目以降3,000円(教材費、食費を含む)

【申し込み・問い合わせ】
備北オートビレッジ
☎0824-72-18802

てキャンプリーダーの認定を受けられた方は、備北オートビレッジで行っています「キャンプリーダー」や各種イベントにもキャンプリーダーとして活躍して頂きます。

【講習内容】
環境教育、テント設営、キャンプファイヤー、室内レクリエーション、野外活動、プログラムの作成、アウトドアアクティビティ、星空観察、ロープワークなど



公園でキャッチボールをしよう！
カーン選手が引っ張り！

園内「つどいの里・スポーツ広場」に「キャッチボールエリ」が新登場！これを記念して11月12日(日)にはカーン選手がやります。永川選手や嶋選手などの現役選手と庄原市スポーツ少年団との野球教室※(要事前申込)、誰でも参加できるお楽しみ抽選会などのイベントを開催します。

※12日当日はイベント開催のためキャッチボールエリアの使用は15時からになります。※雨天の場合は庄原市総合体育館で開催します。

問い合わせ
備北公園管理センター
☎0824-72-17000

食彩館しょうばら

ゆめさくら

☎0824-75-4411

【11月のイベント情報】

- ウインターイルミネーション・オブジェ作り
と き 11月12日(日)・19日(日) 10時～16時
- 庄原華道連盟作品展
と き 11月19日(日) 9時～16時
- 陶芸講座～土から作る器作り～
と き 11月25日(土) 13時30分～16時
参加費 1,500円 定員20人
- ゆめさくら手作り講座～手作りこんにやく～
と き 11月26日(日) 13時30分～16時
参加費 1,500円 定員20人

ゆめさくら交流ホール・実技体験室は、料理講座・体験講座・作品展示会・研修会議等にご利用いただけます。申し込み・問い合わせは事務室まで。

「ふれあい市長室」の日程

- と き 12月9日(土) 9時～12時
- と ころ 総領支所

※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

■問い合わせ 情報推進課広報統計係
☎0824-73-1159

時悠館 考古学体験こども教室

☎08477-6-0161

- 石器づくり体験(石器の話と実技)
と き: 11月12日(日)
- 縄文土器づくり体験(粘土づくり)
と き: 11月26日(日)

と ころ: 時悠館研修室
対 象: 小学校4年生から中学校3年生
募集人数: 15人



発見 しょうばら

冬の夜空を彩る光のアート。クリスマスが近づくとつれ、ロマンチックな光が市内各地で灯り始めます。県内最大級の国営備北丘陵公園をはじめ庄原のイルミネーションスポットを紹介します。

商工観光課観光交流係 ☎0824-73-1178



国営備北丘陵公園「ウインターイルミネーション」

「22万球の光が輝く、さとやまの光物語」をテーマに、山に囲まれ起伏に富んだ地形を活かし、街中とは一味違った幻想的なイルミネーションの光で、冬の夜空を暖かく彩ります。園内の「ひばの里」は昔ながらの農家や屋敷を再現した「ふるさと」を思い起こさせる懐かしいエリア。そんな「ひばの里」にダイナミックに描かれる光物語。澄み切った夜空によりいっそう輝きます。そのほか、高さ10mの「イルミネーションツリー」、巨大で色鮮やかな光を放つ「ビッグパネル」、4,000個のシャンパングラスを積み重ねた「シャンパングラスツリー」など、個性的なイルミネーションがいっぱいです。

■期間 11月23日(祝)～11月26日(日)
12月1日(金)～12月25日(月)
※休園日を除く

■時間 17時(日没にあわせて)～21時

イベント

イルミネーションを彩るミニコンサートや、リース作りやキャンドル作りなどのクラフト教室を日替わりで開催します。また、心温まるぜんざいで来園者のおもてなしをします。

■問い合わせ 国営備北丘陵公園 ☎0824-72-7000



マイルミネーション

個人や団体30チームがオリジナルツリーを飾るマイルミネーション。今回は、国営備北丘陵公園を会場に行われ、イルミネーションのデザイン性を競います。(参加募集中)

■期間 11月23日(祝)～11月26日(日)
12月1日(金)～12月25日(月)
※休園日を除く

■問い合わせ 庄原観光協会 ☎0824-73-0602



光のまちづくり(上野公園、市街地)

上野公園、商店街、街路など、市民の手による光のまちづくりが行われます。

上野公園では、弁天橋をライトアップ。また、上野池沿いでは約600メートルにわたってさくらの木に電飾が取り付けられます。水面に映る美しい光を眺めながら冬の上野公園を散歩してみたいかたがでしょうか。幻想的な世界を楽しむことができます。

商店街でも、フラワー通りや市役所通りをはじめ、街中には美しく飾られた通りや建物を見ることができます。

■期間 上野公園/12月10日～1月10日(予定)
市街地/11月23日～12月25日(予定)

■問い合わせ 庄原観光協会 ☎0824-73-0602



夢の灯火イルミネーション(高野)

高野支所前から上高公民館にかけての道沿い(学園ロード)と福祉保健センター前の県道沿いに電飾が飾られます。雪を染めるライトアップは、冬の通学路をやさしく照らし、子どもたちを温かく見守り、訪れる人の心を和ませてくれます。

■期間 12月上旬～1月中旬

■問い合わせ 高野町観光協会 ☎0824-86-2011